

第22回まちづくり懇談会の概要について

1. 懇談会のテーマ

- ・さむかわのココが好き
～他市町村に負けない魅力～
- ・地域の課題について

2. 日時、会場

平成30年11月17日（土）

北部文化福社会館	午前9時30分～11時
南部文化福社会館	午後1時～2時30分
総合図書館会議室	午後3時～4時30分

3. 参加人数 : 計 42 人

会場	参加者
北部（北部文化福社会館）	16 人 (男 9 人・女 7 人)
南部（南部文化福社会館）	14 人 (男 11 人・女 3 人)
中部（総合図書館会議室）	12 人 (男 6 人・女 6 人)

4. 町出席者

木村町長、常盤副町長、中島町民部長、戸村協働文化推進課長、
協働文化推進課協働担当職員

5. テーマ別の詳細について

- ①テーマ1…<P. 2 >
- ②テーマ2…<P. 5 中段 >
- ③テーマ3…<P. 16 下段 >

1. さむかわのココが好き～他市町村に負けない魅力～

【北部懇談会の内容（北部文化福祉会館）】

参加者	町長	懇談後の経過・ 結果等確認事項
<p>自然が豊富ということだと思います。朝、散歩中にお花が結構咲いています。各公園や個人宅でも咲いているように感じます。しかし、川とのふれあい公園は以前はもっときれいに咲いていたのですが今年は残念な感じがします。</p>	<p>花壇があり、きれいだと思います。</p>	
<p>最近では残念な状態になっていますが、町の中は結構きれいな状態です。</p>	<p>今日、役場から会場へ来る途中、産業道路を通ってきましたら、役場周辺は花ボランティアの方に植えかえをしていただいています。北側へ来ると整えられていません。</p> <p>雑草は年に1、2回開催されるまちづくり美化運動できれいになりますが、できれば月に1回ほどは行うべきだと考えます。ですから、皆さんの負担にならない範囲で自身の家の周りだけでも協力して行うと良いと思います。これなら負担にならないというような何かアイデアは皆さんありますか。</p> <p>産業道路や宮山地区、一之宮地区、田端地区は植栽スペースが目立っています。ある企業さんでは自身の企業の前はきれいにしていることもあります。それぞれが自宅やお店の前だけでもきれいにしていくことで、今は点と点のような状態ですが、それが線になり、全体がきれいな状態につながると環境的にも良いと思っています。地域の方々には是非、協力していただきながら改善したいと思います。</p>	
<p>川とのふれあい公園のお花は誰がしてくださっていたのですか。</p>	<p>寒川ライオンズクラブを中心にボランティアの方々が行ってくださっています。</p>	<p>【都市計画課 みどり・国県担当】</p> <p>川とのふれあい公園の花壇につきましては、ボランティアの方々</p>
<p>では、今はそのボランティアの</p>	<p>やっておられるとは思いますが。</p>	

<p>方々がいなくなったということでしょうか。</p>		<p>の高齢化に伴い、参加人数が年々減少しているため、新規ボランティアの募集を行っております。</p>
<p>今もやっている方はいますが、そのボランティアの人が追いつかないのだと思います。</p>	<p>(町民部長) 少し減っているのかもしれませんが、今も続けてやってくださっているようです。</p>	
<p>桜町に在住しております。寒川は大きな川が3本あり、川の周りは自然がいっぱい残っていると思います。しかし、住宅街に入るとその自然がどんどんなくなってしまっているのは残念に思います。</p>		
<p>星がきれいに見えます。そして、富士山が毎朝、見えます。発展とともに見えなくなるとは思います。圏央道ができる前はよりきれいに見えました。しかし、今でもきれいに見える場所があります。なくしてほしくないと思いますが、今の建築ラッシュがありますとそのうちなくなってしまうのでしょうか。</p>	<p>ガイドブックの最初のページに、広くて真っ青な空とあります。コンパクトな町ですが、寒川から見る空や富士山もそうですが、非常に広々としています。寒川は平坦な町であり高いビルが建つと景観を損ねてしまうため高さ制限をしています。しかし、工業関係や一部の商業的なところは規制を緩めています。それ以外の住宅専用地域については制限をしています。</p>	

【中部懇談会の内容（総合図書館会議室）】

<p>参加者</p>	<p>町長</p>	<p>懇談後の経過・結果等確認事項</p>
<p>岡田に在住で、主に自治会関係の活動をしています。寒川町は調度よい大きさと、防災にしても行事にしても、皆さんが協力的で、本当にオール寒川、オール岡田でできるなというのは感じております。</p> <p>また、非常にうれしいのは、様々な意見が出てくる、考えているというのを感じられまして、それに対しこれからどうしていこうかというのが発展的な意見が出やすいなという、寒川町の人柄と言いましょか、地域性と言いましょか、非常に住みよいなと感じております。</p>		

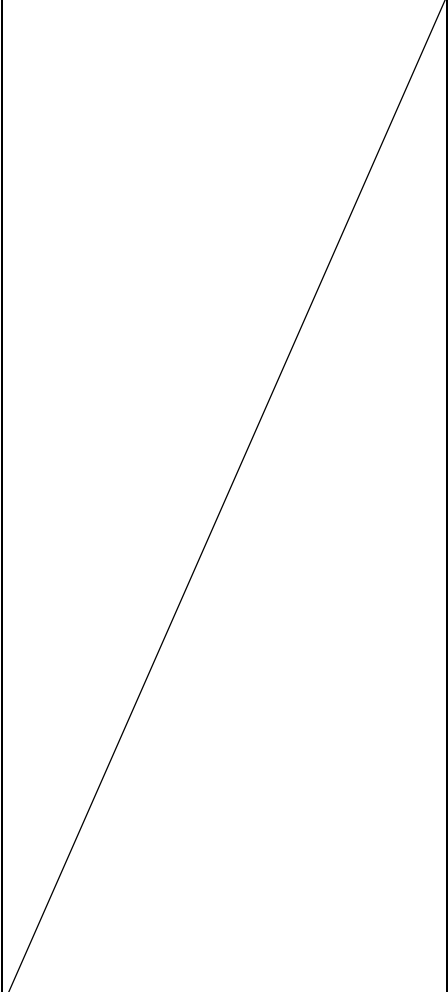
<p>宮山に住んでいます。寒川町は非常に親切な人が多いのですが、広い視野を持てるとより良くなると思ひまして、参加させていただきました。よろしくお願い致します。</p>		
<p>宮山に在住で、一般社団法人の寒川総合スポーツクラブのカヌー指導員をさせていただいております。寒川の魅力は、大きな相模川がある。生き物がとにかく多いのですね。そこで子どもたちと魚とり網でガサガサを行います。子どもたちが楽しくしている、非常にいい環境だなというふうに思っております。</p> <p>川を使ったまちづくり、環境のよさ、資源と言うんでしょうか。ポテンシャルの高い町だと感じています。</p>	<p>(町民部長)</p> <p>ありがとうございます。カヌーができる町というのはそうそうないのかなと思うのですが、ご存じなかった方も多いんじゃないかなと思いますよね。</p> <p>これは親子でも参加できるのですか。</p>	
<p>はい、未就学の方も受け入れております。ボランティアですので、通常のカヌー教室のような高い金額ではなく、やらせていただいております。ぜひ町民の方、皆さんが一度は体験してもらえると、自分の町がもっと好きになるのではないかなと思います。</p>	<p>カヌーからの視点は、新しい発見、新しい景色が見えます。銀河大橋を下から見上げるというのは、なかなかないですからいいなと思います。新しい発見、新しい体験ができますので、ぜひ皆さんも一度お寄りください。</p>	
<p>寒川の良さとして、水と緑が謳われています。水と緑を体験できるもの、小学校では田植えを行い、そこでもち米をつくり、最終的にもちにするというところまで体験できます。これはほかの市町村でもないことなので、寒川の魅力であり、他市町村に自慢できる点だと思います。</p>		
<p>町外の知り合いが寒川神社とわいわい市、中央公園などを訪れた際、感動したと寒川を褒め、好きになったと言ってくれたことがうれしかったです。もともと寒川は好きでしたが、さらに好きになり、寒川という町がとても誇らしくなりま</p>	<p>(町民部長)</p> <p>ありがとうございます。大変うれしい話をいただきました。まず外の方が寒川を褒めてくださるのはうれしいことです。</p>	

<p>した。</p> <p>また、各小学校の放課後月水金に、体育館が開放され、遊具で遊べるようになっています。そのときに見守りのボランティアさんで、シニア層の方々が子どもの面倒を見てくださることがすばらしいと思います。</p>		
---	--	--

2. 地域の課題について

【北部懇談会の内容（北部文化福祉会館）】

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【公園や緑道について】 公助</p> <p>最近、公園の草が茂っています。私は寒川のシルバーセンターで2年間、倉見の除草班で働いていました。その頃は公園も道路もきれいでした。今は倉見の緑道に草が生え、落ち葉はそのままです。町の予算が足りないため、センターに対する予算が足りないのでしょうか。今の状況は子どもの心の育みに悪影響を及ぼすと思います。</p>	<p>確かに公園、緑道も、特に倉見緑道は、確かに維持管理をしないと雑草が伸びるなど荒れてしまいます。町が管理しておりますが、全てを職員だけで行うには手が足りません。では、予算をつけて清掃委託というのも経費がかかり、十分な予算配当ができない部分もあります。倉見緑道や公園、皆さんが使う共有の場所について、どうしたら使いやすく、</p>	
<p>五島クリニックの前で、毎朝、子どもたちの見守りをしていますが、郡山電気さんからずっと緑道を歩いてきますと、今、おっしゃられたように、子どもたちの通学路は、緑道のところなのです。足元は草が茂り、上はアジサイやコデマリが茂り、1人通るのがやっとな状況です。町にお願いを申し出ているのですが、最近、回数が少なくなり、子どもたちの通学路に影響していると実感しております。</p>	<p>見た目もきれいになるのかを、管理者だけでは対応し切れないものを地域の方や利用者の方にお手伝いいただくことができないかアイデアを頂きたいです。やはり皆さんのできる、無理のない協力の仕方をこれからは考えていかなければ、寒川町は協働のまちづくりを掲げていますが、お互いができる範囲の協力をすることでよりよくなると思いますので、担当課から地域の方にお話しに行くかもしれませんので、その節はご意見もいただきながら、どうすれば現状よりも改善できるかを町としても考えてまいりますので、よろしくお願いします。</p>	

<p>やることは簡単ですが、公道に対してやっていいのでしょうか。一度、桜の木がちょっと折れそうでしたので、シルバーさんに「切るのは簡単ですけど」と聞くと、「いや、それは切らないでください」、「勝手にやらないでください」と言われてしまいました。公道に対し住民が行おうとしても判断がわかりません。</p>	<p>一之宮緑道は木が成長し過ぎ、街灯や防犯灯の明かりが十分下に届かず暗いので、剪定してほしいとの要望はありました。</p> <p>これは確かに今おっしゃられたように、中木や高木は勝手に切られてしまうと少し困ってしまいます。そこは管理している所管がありますので、中高木については話をいただき、下の雑草についてはご協力いただきたいです。やはり中高木となりますと、脚立を使用するので、けがをされると大変ですし、技術が必要になってきますので、その際は管理担当課にお話ししていただければ対応いたします。</p> <p>剪定作業ができるのか課題もありますが、極力、安全を確保するための対応策はとっていきますので、よろしくをお願いします。</p>	<p>【都市計画課 みどり・国県担当】</p> <p>公園や緑道等の樹木剪定で高所作業が必要な中高木につきましては、危険が伴うため、専門技術を持った者でないと作業は難しいと考えております。また、剪定後の対応によっては樹木が枯れてしまい、かえって町民の皆様を危険にさせてしまう恐れがあるため、協働の一環として樹木の剪定を行われることを希望する際には一度担当課へご相談ください。</p>
<p>【町の花 スイセンについて】</p> <p>共助・公助</p> <p>寒川は町の花であるスイセンをどこまで前向きにとらえ、政策的に植えていくのか教えていただきたいです。これからボランティア団体として500球ほどのスイセンを植えようとしています。そうして、コツコツとスイセンを増やし、10年後には、寒川町はスイセンの町として、魅力あるものとなるのではないのでしょうか。それにより、子どもの心も育ち、ふるさと意識も生まれると期待しています。</p> <p>また、町の職員さんにも休みの日にボランティアと一緒に球根を植えることで、地域の情報が把握でき、町民と一緒に行動することで協働にもなります。そして、町に対する愛着心がより育まれます。</p> <p>日本一のスイセンの町にするよ</p>	<p>今、スイセンのお話が出ましたが、正直この点はある町民の方からも言われました。寒川町は花の町と言いながらも、その花が見えない。公共施設や人通りの多い場所、役場周辺から駅にかけては、花植えのボランティアの方々が植栽をして下さっていますが、そこだけで今終わってしまっています。ここを基点に広げたいと思っています。しかし、単にお願いしますだけでなく、動きが伴わないといけないと思います。スイセンは町の花で、期間的には短いかもしれませんが、その時期には至るところで寒川のスイセンが見ることができるよう具体的な取り組みをぜひこれは私も進めていきたいと思っています。</p>	

<p>うな取り組みを、大した予算になりません。ただし、10年間行い続けます。これは意見というより提案です。</p>		
<p>【自治会について】 共助</p> <p>コミュニティ税を取る考えはないでしょうか。これはある町か市で行っているのですが、今、我々は町内会費や自治会費を払っています。どこかの市では500円をコミュニティ税として、各家から集め、それを原資に地域活動に使うそうです。</p> <p>何故このようにしたのかと考えるとそこも寒川と同様、新しく入ってきた人が地域に馴染まないからだと思います。私も引っ越して3年後くらいに衛生委員となったのですが、その時に行われた地域活動は和気あいあいとしたものでした。しかし、今は地域活動に参加して頂けません。参加したとしても自治会には加入していません。これが今の寒川の現状だと思います。</p>	<p>自治会の加入についても詳しく担当から説明がありますが、加入率そのものは減っています。</p>	
	<p>(事務局)</p> <p>現在は71%です。年々、毎年1%ずつ減っています。</p>	
	<p>新しい方が増えるに従い、全体の世帯数に対する加入率は下がってきています。これはどの自治体にも言えます。加入しない理由は強制ではなく任意であるからなのです。任意であるならば、煩わしいことは避けたくてしまうのが原因だと思います。</p>	
<p>組長を担当していた時、新しく入った人には、自治会の規則や会費の取り立てなどをお伝えしています。入る人もいるのですが、若い人は共働きが多く、お子さんもいるのでとても地域までに手が回らないのです。</p>	<p>今日も自治会長さんいらっしゃいますが、やはり自治会へ加入すると役員が回ってくるなど責任を持つことになります。それが、今おっしゃったように、子どもが小さく、ともに働いている世帯は時間がないこともあり、参加をためらう方が多くいます。ですから、地域に戻り、時間に余裕のある方も増えてきているので、そのような方に極力、役をやっていただくなど工夫をすると思います。</p>	
<p>もし自治会に入らないとなると、そこに回覧が回っていきません。町長さんが、自治会に町の広報紙を配ってもらうというやり方を取りました。あれは進歩的ですが、地域の</p>	<p>今はシルバー人材さんをお願いし、全世帯、全事業所に配ってもらっています。ですから、自治会に入らなくても広報は回ってきます。それが加入率を阻害しているのでは</p>	

<p>人との調和が取れなくなってしまう います。</p>	<p>ないかとのお話もあります。</p>	
<p>自治会というのはギブ・アンド・ テイクという概念が強くなります。 住民で共有する話題は、ごみのネ ットが古くなった、破れた、ある いはカラス問題くらいです。つぶさに 回覧板を見ても、見なくてもいいと いうようなケースが地域によって あるとなると、入らなくてもいいと なるのが事実だと思います。 そこで目標が何か一つあれば、自 治会でその目標を達成しようとな り、存続で広がっていくのかもしれ ませんので、これはぜひお願いした いです。</p>	<p>自治会の規模にも大小あります。 千世帯未満の自治会から、3千世帯 を超えるような大きな自治会もあ ります。その中で、一つの例、自主 防災組織、一之宮西自治会は防災意 識が高く、自主防災の訓練を行っ たり、独自に、西自治会のホームペ ージを立ち上げ、各連絡網により全 て自主防災の当日までに参加状況 を全て把握でき、自治会加入未加入 含め地域に住んでいる方の95%が 回答を出しています。そのくらいネ ットワークが組織的にできている 自治会もあります。ところが、そう でない自治会もあります。です から、その違いが自治会に対する、 住んでいる方の思いに温度差があ ると感じています。</p>	
<p>私は今、倉見の自治会長をやって いる者です。倉見では、加入して いる世帯が4千世帯中、2千世帯で 加入率が50%ほどです。また、今、 役員さんの話が出ましたが、今年に なってから、もう役員もできない ので町内会をやめたい、自治会をや めたいと相談されます。 全体的に役員は、輪番制でやって いるところが多いです。しかし、そ れがうまくいかず、お年寄りや若い 夫婦の場合の相談が多いです。そ ういう場合は町内で話し合っ て行ってくださいということ を言うのですが、難しいです。し かし、自治会に加入したいとい う人が役場を通じ、連絡も来 ます。今年だけで30件ほど 連絡は来ていますが、その都 度、町内会長さんを教え、そ ちらでやってもらっています ので、100%入っているかは 把握できてい</p>	<p>町でも新たに転入された方につ いては、町民窓口課で自治会加入 のお話をしています。</p>	

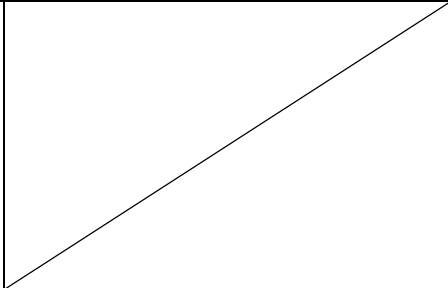
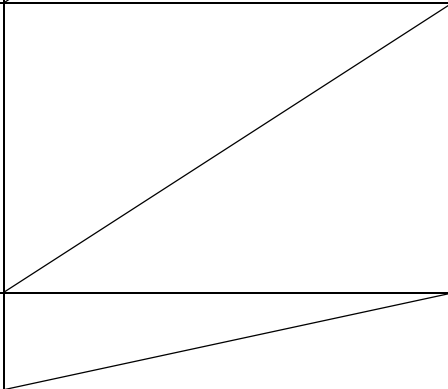
<p>ません。</p>		
<p>先日、私は役場に行きました。宮山では町内会長は輪番制です。今、6世帯あり、うち3世帯が90歳超えています。何故、会長と班長を出すのかと揉め、收拾がつかず、役場に聞きに行きました。そのときの返答が、役場では自治会にノータッチですと言われました。では、このまま町内会がなくなっても良いのですか。私は自治会長がいて、町内会長がいる、仕組みが理解できていません。</p>	<p>(町民部長) 倉見と宮山は、かなり世帯が多いです。ですから、それぞれの町内会が実際、自治会のような動きをしている形になっていると思います。一つの町内会が、もしかすると、小さい自治会と同じ規模で動いていることもあると思います。おそらく、役場からお願いしているのは、高齢者で役員ができない方がいらっしやれば、そういう方は飛ばしてもらえませんかというお話はしていると思います。</p>	
<p>飛ばすのは簡単です。その飛ばしたのを嫌がる班があります。その班が嫌なのです。</p>	<p>(町民部長) 今考えているのが、再編をしていただけないかということです。やはりお話のようになってしまいますので、自治会の中でも、今まで23あった自治会を、1000ほどの世帯がやりやすいのではないかと。スケールメリットもありますので、1つ減らし、22にしているところはありますので、そのような動きは当然あります。どうしても高齢の方が多い自治会もありますので、そこは課題と思っています。</p>	
<p>それは私たちにすると、再編は自治会でやるのか、町内会でやるのかという感じです。</p>		
<p>私の意見ですが、倉見もそのような事例がたくさんあります。その場合は、やはり町内会の役員さんを決めるには、基本的に町内会で決めてくださいとお願いしています。どうしても決まらないというときには相談に来られます。しかし、その場合は、その中でこの人は来年できないので、次の年の人をお願いするかというようなことで今のところうまくいっています。</p>		

<p>今、私は毎年、1年交代で班長を行っています。2人しかいないからです。</p>	<p>(町民部長) 地域としても珍しいものです。</p>	
<p>私は桜町に住んでおり、桜町は、上、中、下と3つの町内会があります。そこから町内会長さん、副会長さん、2名ずつ出てもらっています。3、4年前に、桜町中の世帯数が少ないことがあり、何かしらの役員が毎年回ってくる状況でした。そこで3年前に町内会でプロジェクトチームをつくり、世帯数の見直しをしました。</p>		

【南部の懇談会（南部文化福祉会館）】

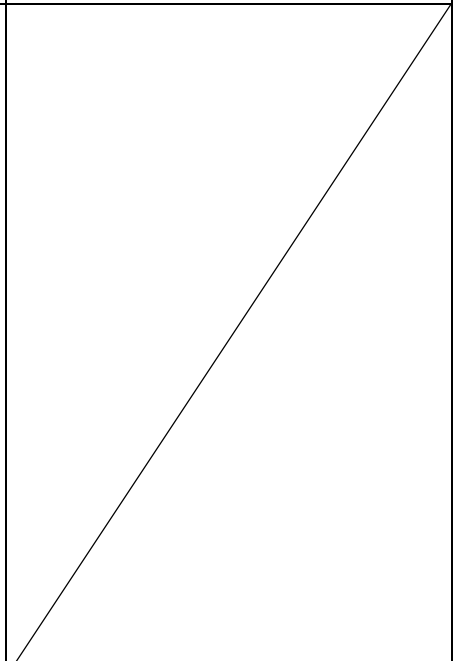
<p>参加者</p>	<p>町長</p>	<p>懇談後の経過・ 結果等確認事項</p>
<p>【担い手不足について】 共助</p> <p>一之宮に屋台があることは自慢できます、寒川としては夏祭りの目玉であると思っています。</p> <p>観光協会の方が、外人さんを連れて来られることは良い点なのですが、屋台保存会の方々が、外人さんには閉鎖的になってしまっています。もっとオープンマインドで接すればなと思います。そして、外人さんも受け入れ良いところを伸ばさなければいけません。</p> <p>また、屋台がシニア層ばかりになり、若い人に運営側として参加してもらえるかが課題になっています。</p>	<p>どのように伝えるか、どのように取り込むか、それは若い人たちへの文化の伝承だと思います。例えば、寒川の姉妹都市である山形県の寒河江市は、神輿が観光資源となっており、寒河江の今の賑わいを伝えたのは寒川の青年会議所、倉見の方々なのです。寒川はお祭りの一環として神輿を担ぐのですが、寒河江は神輿の祭典として大々的に行われています。観光資源としてだと思いののですが、大人神輿が各町内ごとになり、子ども神輿も一緒にあるので、担ぎ手の育成が自然とできています。県民性もあると思われませんが、寒河江を見ていると感じます。</p> <p>先ほどの屋台のお話で出たように、やはり一番の課題は若い人が入ってこないことです。これは屋台に限らず、文化連盟や体育連盟、体育協会などでも同じです。やはり受け入れ側が体験でもいいのでという形の呼びかけが弱いと感じます。</p>	

<p>呼びかけが不足していることもですが、若い方は忙しい方ばかりなので、土日にリラックスするような、レクリエーションのようなことを行い呼び寄せるのはいかがでしょうか。主催を町にするか、自治会あるいは町内会ですか、一番は関心がないことが問題なのです。</p>		
<p>担い手不足は様々な方面で問題となっています。それは世代間で考え方が変わり、今まではボランティアとして参加していたけれども、若い人はその感覚はないのだと思います。文化が消えていってしまうと、自治会を行い痛感しています。</p>		
<p>地域で昔から行っていた行事も高齢化に伴い、運営も大変になり、なくなってきてしまいました。しかし、新しく寒川に来た人も手伝いには来て下さるのです。しかし、やり方も教えず、来てくださった方は手持ち無沙汰になっているのを見ました。あれではもう二度と来てくれなくなってしまいます。確かに、一から教えることは大変ですが、辛抱して教えることが継承なのだと思います。全員が全員、そうとは言いませんが、「高齢化になって大変だから」「もうできない」と口ぐせのように言っただけでなく、運営側もそこを頑張らなければと思います。</p>		
<p>野球やサッカー、コンサートは何万人も集まります。それを分析すると、みんなユニフォームを着ています。ただ観戦するよりも一体感を味わえ、参加したくなるのではないかと思います。そこにヒントがあると私は考えます。そこで、雰囲気作りのためには身なりも1つの方法ではないでしょうか。</p>	<p>この近辺では、例えばサッカーの湘南ベルマーレ、平塚でホームゲームを行う時は観客の方がユニフォームを着て歩いています。ファンクラブ会員の方は参加したくなると思われませんが、地域の文化となりますと、参加するようになってからのお話になってしまうと思います。</p>	

<p>長野県の御飯屋はみんな揃えているように思います。</p>	<p>(町民部長) 御飯屋は神事になりますので、地域の方からすると仕事の割り振りがあるようです。新しい人が来ますと、確かに入りづらい雰囲気はあります。</p>	
<p>新しい方を取り込むためにも少しずつ工夫をできるようにしたいです。</p>	<p>(町民部長) それが大事だと思います。昔からやっているところというのは、役割分担が決まっており、参加しにくいのですが、我慢してもらい、新しい方を育てていかないとはいけません。 新しい方々が参加しやすい場をつくりましょう。</p>	
<p>【買い物難民について】 共助・公助 私は一之宮ソフィアの者です。今年の3月、マンションに週2回八百屋さんに来ていただいていたのですが、そこが廃業し、八百屋さんが来なくなりました。それまではマンションに住んでいたお年寄りがそこで買い物をしていたのですが、それができなくなり、一之宮はお店がないため、困ったなという状況でした。買い物に行くとしても、もくせい号の本数が少なく、遠くまで行くのは大変ということで産業振興課や商工会に相談したところ、10月から週1回来ていただくことになりました。やはり直接買い物できるのは嬉しく、町や商工会に対しても感謝しています。ありがとうございました。 その中で考えますのは、高齢者の買い物難民についてです。一之宮や田端には買い物する場所が非常に少ないです。ですから、どこかに買いに行かなければなりません、それも大変です。方法としてバスの本数を増やすのもありますが、金銭的に大変なのでお店の誘致に力を入れていただけたらと思います。寒川を見</p>	<p>(町民部長) 一之宮地区は文化の中心になっていたのですが、いつの間にか、北側のほうに重心が動いていったような感じはします。</p>	<p>【産業振興課 商工労政担当】 町は、地域によっては大型店の進出も進み、住民の方の利便性が向上している一方で、地域商店の経営は厳しくなっている現状がございます。長期的に考えますと大型店舗と地域商店が共存し、それぞれの特徴を活かしていけることが、町の活性化に繋がり、ひいては住民の方の利便性の向上に繋がると考えております。しかし、今も徐々に高齢化社会が進む中で、寒川町はコンパクトな町で、なかなか買い物不便地域というのが見えにくいですが、買い物に不便を感じる人が増えていくことは、間違いありません。そのような状況の中で、町へのお店の誘致ということでございますが、個店の誘致については、経営という点から、町から積極的な出店の話し掛けは難しいため、町内に「お店を出したい」と問い合わせがあった時には地域に住む皆様の思いを伝え、出店に繋がるよう努めてまいります。</p>

<p>ますと、北側にお店が増え、南側は お店が減っているように感じます。</p> <p>今回は八百屋さんが来て下さる ことは短期的な部分では非常に有難 くなったのですが、長期的に考えま すと、是非、買い物難民を減らすた めの方法を検討していただきたいで す。</p>		<p>【高齢介護課 高齢福祉担当】</p> <p>高齢者の買い物難民につきまし ては、介護保険サービスの中で、 本人に代わりヘルパーが食料品 や日常生活用品などの買い物を 行う訪問介護の生活支援サービ スがありますが、これはあくまで も介護認定を受け、ケアプランに 基づくサービスの一つとなって おります。また、家族と同居され ている方には、この買い物サービ スのご利用はできません。</p> <p>越の山自治会では、高齢者を対 象とした買い物支援として、自治 会の有志により、不定期ではあり ますが、週に1回利用者のニーズ に合わせてスーパーやデパート などへの送迎を行っています。こ のような活動を町内すべての地 域で実施することは、難しいこと と思いますが、シニアクラブ連合 会や自治会などに情報提供がで きればと考えております。</p>
---	--	---

【中部懇談会の内容（総合図書館会議室）】

参加者	町長	懇談後の経過・ 結果等確認事項
<p>【農業振興地域について】 公助</p> <p>元柿畑、広い場所なのですが、今 は柿の木を切り、草が生えまくっ ている状態です。農業振興地域とい うことで、別の利用目的に変えるわ けにはいかないのでしょうかけれど も、当時、町長とお話しさせていただ いたときは、仮に芝を植えても、ある 意味いけるのではないかのような お話がありました。農作業をやっ ていた方が高齢化し、跡継ぎがい ない元柿畑のような土地がこれか ら増えてくると思います。そのよ うなところを高齢者や子どもたち が自由</p>	<p>今、おっしゃられたところは基本 的には畑の部分だと思います。耕作 されていない農地の利用について は、多目的に使いたいという声は いただいています。しかしながら、 用途規制、調整区域の農業振興地 域となると、非常に利用が厳しい です。</p> <p>農業委員会、あるいは農地の利用 促進委員さんには話は投げかけて います。しかし、多目的に利用す ることは難しいという返事はいた だいて</p>	

<p>に遊べるような場所や近所の方々が活用できるように変えてみると良いと思います。本当にあけっ放しの状態です。市街化区域であれば、開発し、家を建てることも可能ですが、適用されないと思うので、そのような土地に対応できないかと思っています。町が貸与することにより固定資産税の減免など対案を出しながら、積極的に使用することを検討できないでしょうか。空き地を見ると、いつもそう思います。</p>	<p>います。ただし、あのままの状態で放置されるのは、好ましくないと思います。</p>	
<p>条例を変えてみるというようなことを考えてでも活用していかない手はないなと思います。考え方として、町全体で耕作されていない土地をよみがえらせる方法を考えてみるのも一つの方法ではないかなと思います。</p>	<p>農地法というのは非常に規制が厳しい法律で、どうしても現状維持というのが大前提になってしまうのですが、農業委員会には何とか使える方法はないのか、お答えを出させていただきます。</p>	<p>【農政課 農業委員会事務局】 農業振興地域の農用地は、現行法制度下では農地法等により、農地利用の権利の設定・移転に規制・制限があります。 そのため、新規就農者の確保や農作業の受委託や利用権設定などで農地の流動化を促進し、意欲的な農業者を中心に農地の集積を進めることで、農地の有効利用を図りたいと考えております。</p>
<p>【家庭菜園について】 <u>公助</u> なないろ畑をやっている方が結構いますよね。20坪、30坪の土地を借り、野菜をつくるという。なないろ畑のようなことを行いたいがないという話を近所で聞くので、今、おっしゃったそのような場所を、町で斡旋するなど。そのような形で、雑草をなるべく少なくするような方策をとるのが良いと思います。</p>	<p>家庭菜園の領域になってくると思うのですが、単純にはいかない問題です。</p>	
<p>家庭菜園は町も斡旋されていますよね。2年間で1カ所の土地に野菜を、草刈りして、野菜を得て、収穫してということは時間が足りません。やる気のある利用者には、長期間の貸し出しをすべきだと思います。</p>	<p>町内、各何カ所か個人の土地をお借りし、家庭菜園で区画割をし、大体1区画16平米ほどで、抽選申込みを行っていただいております。3年更新で行っていますけれども、引き続き更新で申し込みをしたいという方がいらっしゃった場合、出来る</p>	

	<p>だけその方には同じ区画で行ってもらうというお話は聞きました。</p>	
<p>横浜に住んでいる姉も自身の土地を区画し、姉が種や肥料などを用意して指導をしております。</p>	<p>有償で貸し出すなど地域によって様々です。寒川は無償で貸し出しを行っています。</p>	
<p>【公共施設について】 公助</p> <p>環境整備を町でも考えていただきたいと思います。老朽化により、公共施設の見直しを行う中で、学校にエアコンを設置したり、トイレを新しくするなど優先的に取り組みいただきたいと思います。環境の整備が遅れているところに子どもを預けてもいいのか、寒川に引っ越しをするのはやめようとする親もいると思います。寒川への転入促進のためにも環境整備は行うべきだと思います。</p>		
<p>【協働について】 共助・公助</p> <p>自治会は行政にとってもなくてはならない存在ということは承知して、私も順番が回ってきたときだけですけれども、協力をさせていただいています。最近、多様な主体という言葉がよく出てきます。様々な形での組織が生まれて、それぞれが到達する目標に向かっていく。</p> <p>多様な主体を担う自治会にばかりお願いしていくと自治会の加入率は下がっていく一方だと思えます。もちろんこれまでの行政への協力など、自治会はこれからも主力のまちづくりの担い手ということになります。それ以外、例えば私だったらカヌーのように適材適所でまちづくりの一端を担う方法が良いと思います。まちづくりに関わる人の支援についてお教えいただきたいです。</p> <p>自治会の加入率が下がるとのお話がありましたが、シニアクラブ連</p>	<p>(町民部長)</p> <p>町も協働のまちづくりを推進しております。協働提案事業でお互いの役割分担を決め、一緒に目的に向かって進めていくようなことも、見直しを図りながら新しい制度を作ると同時に、地域の人材発掘も行っています。</p> <p>地域に人材はいらっしゃるのですが、その仕組みがうまくできていないのが現状です。</p> <p>今、現状で、毎年、地域の団体の方に集ってもらい、話し合いの場はありますが、なかなか役場がコーディネートするまで行えていないので、模索している最中というのが現状です。</p>	

<p>合会の加入率も老人が増える割には上がりません。働く年齢が上になったということもありますが、従来のみんなで集まり、食事等をするという老人会のイメージでは集まらないのだと思います。「私はこれをやりたいから老人会に入る」など新しい人に入ってもらえるための行動を、助けるものを作っていくといけません。何かやることを具体的にやるステージを一つ一つ作り上げていくような人が出てくると、全体が増えることにつながると思います。</p>		
<p>【サポートセンターについて】 公助 ぜひ中間支援組織みたいなものができればと思います。例えば茅ヶ崎や平塚のサポートセンターは自治会へのバックアップも熱心にされています。行政と地域の団体のつなぎ役と言いますか、身近な相談役として機能されているのを見ると、寒川で必要かは分かりませんが、一つの方法として良い方法だと思います。</p>	<p>(町民部長) おっしゃるとおりで、行政にいくなり相談するにはハードルが高いですが、その前に気軽に相談できるというサポートセンター的なものは必要とは今感じているところです。</p>	

3. その他＜災害関係＞

【北部の懇談会の内容（北部文化福祉会館）】

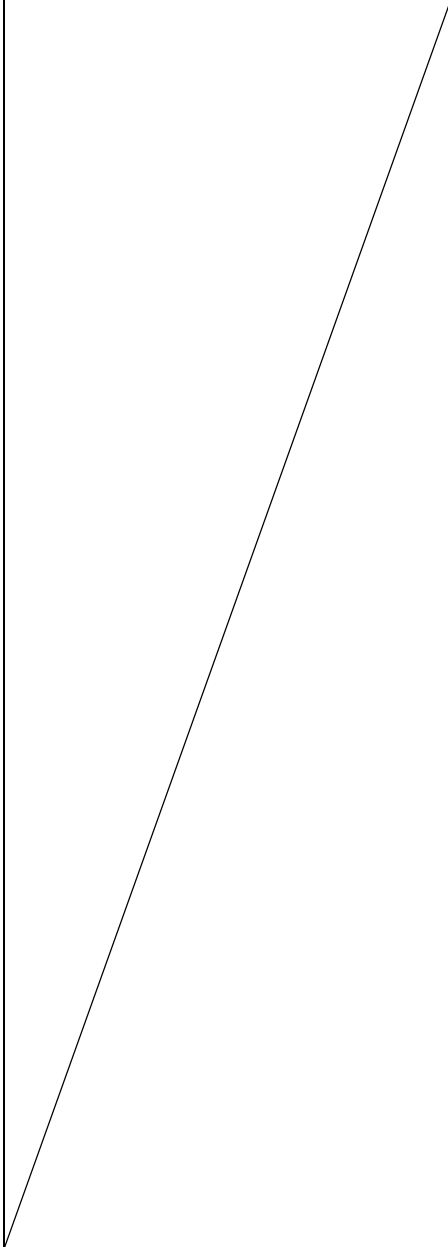
参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【放送塔について】 公助 私は倉見地区で民生委員をしています。先日、行政相談の方と話し合いの場があり、その中で出た問題なのですが、放送塔の放送が聞こえにくい、うるさいとの意見が住民からあったようです。町に問い合わせたところ、機械が古いこと、設置した当時と今では環境状況が違うため反響し聞こえにくいのかかもしれないと</p>	<p>(町民部長) やはり放送塔は近くの方はうるさく、遠い方は聞こえません。建物の状況によっては反響します。また、最近、建物の緊密性が高いので、特にマンションは、窓をあけないと聞こえにくいということがありますので、基本は、外に出るか、窓をあけて聞いていただくをお願いします。</p>	

<p>ありました。しかし、人や言い方によってははっきりと聞こえます。海老名では放送塔は専門家が放送していると耳にしました。寒川は職員がやられているので聞こえにくいこともあります。やはり聞こえやすいようにするのが良いと思い、この場で発言をしました。</p>	<p>また、聞こえにくい、滑舌の悪い職員もいますので、それは課を越えて、聞き取りやすい職員にお願いしているのが現状です。</p> <p>やはりどうしても聞こえないことがありますので、皆さん、携帯電話をお持ちだと思いますので、「メール配信サービス」に登録していただくと、文書で届くシステムがあります。また、電話でも確認できますし、J:COMの端末で聞くこともできるというようなシステムもあります。今後も皆さんに聞こえるよう担当で改善しますので、よろしくをお願いします。</p>	
<p>町の職員の方も、J:COMさんや携帯など様々な方法をとっていると言われたのですが、その都度見ないと思います。緊急だからこそ、すぐ聞こえやすいことが大切だと思います。</p>	<p>(町民部長)</p> <p>放送とほぼ同時にメールが入ってきますので、そこは大丈夫です。</p>	
<p>【防災無線・公園について】 公助</p> <p>町長さんに2点、聞きたいことがあります。1点目は防災無線についてです。防災無線は晴れている時は窓を開けて聞くことが出来ますが、台風などの時には窓を開けて聞いていられません。重要な時に情報が聞こえないことが災害につながります。そこで茅ヶ崎では防災無線ラジオがあると聞きました。去年、自治会にこれを提案したのですが考えていないと言われたので、聞きたいと思います。先ほどおっしゃっていたメールもパソコンや携帯も持っていない方、使い方がよく分からない方は出来ないと思います。私は実家で防災無線ラジオを使用したことがあります。便利だと思ったので必要と伝えたいです。</p> <p>2点目は公園についてです。以前</p>	<p>防災ラジオにつきましては、近隣の茅ヶ崎や藤沢、平塚が使用しています。行政側としましては災害時、いかに早く情報をお伝えするかが役割です。情報を流しても伝わらなければ意味はありません。防災ラジオを即対応するかは内部でも検討しています。防災無線を使用する際は緊急時なので、音を最大で使用し放送するよう言っています。その際はうるさいと思われそうですが、ご理解のほどお願いします。</p> <p>また、公園のベンチなどは老朽化してしまうので、私も気が付く範囲では担当に指示するのですが、全てというわけにはいきません。管理者がチェックしながら対応していきます。また、ベンチがないところにつきましては補填するようにしま</p>	

<p>の公園は木のベンチが設置してあり 良かったのですが、木が劣化してしま いベンチがなくなってしまいました。 以前はそこでおしゃべりをして いたお年寄りが来なくなってしま いました。公園に来る目的がなくな ると人が来なくなり、公園が廃れて しまうと思います。また、ベンチな のですが新しくなったところもある のですが、木ではなくプラスチックに なってしまいました。夏は熱くなり、 冬は冷たいのでは座れないと思う ので、木にしていだきたいと思いま した。</p>	<p>す。</p>	
<p>【災害について】 公助 大雨が降った際、目久尻川の水位 が高くなります。その後、どれくら い水位が高くなるのかが私たちには 予想できず、今後の情報は流せない のでしょうか。</p>	<p>国でも気象庁を含め、ホットライ ンが私に直接来る部分ではありますが、 それ以外にタイムラインを作ら ねばなりません。予測は難しいもの ですが、最大限の状況を想定し、情 報をお伝えしようと思います。</p>	
<p>私も目久尻川については水かさ が増えた際の警報や対策はお願いし たいです。 もう一点、私は定期的にハーモニ カ演奏を各地で行うボランティア活 動しております。私たちの活動を是 非皆さんに知っていただきたくこの 場で紹介させていただきました。</p>		
<p>倉見自治会では、大村地区の一部 なのですが、大雨が降ると大騒ぎに なる地域があります。自治会独自で 大雨の恐れがある場合、30軒ほど 自治会の役員で手分けをし、2日前 からポスティングをします。注意し てください、この場所に早めに避難 してくださいと書いたものです。地 域の方も安心、早めに対応できると 思うので行っています。</p>		

【南部懇談会の内容（南部文化福祉会館）】

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【災害について】 共助・公助</p> <p>寒川は土砂災害よりも水害の心配がありますので、対策をする必要があります。そこで西の自治会の中でもゴムボートを購入するとの声が上がっています。一之宮地区は企業が多くありますので、あやかろうかと考えております。また、消防署が茅ヶ崎と統合するとのお話が出ていますが、茅ヶ崎寄りになってしまい、寒川が孤立してしまうのではないかと懸念しています。</p>	<p>防災、減災ということで、確かに寒川は山らしい山がありません。神奈川県の中で土砂警戒地区がないのは寒川町と開成町だけなのです。土砂災害の発生の率はないとは言いきれませんが、心配なのはやはり水害と地震です。寒川は相模川、小出川、目久尻川という一級河川3本に挟まれている町で、名前にも川がついているように、川には縁が深いところです。</p> <p>行政が心配していますのは、相模川は神川橋から下流は国土交通省の直轄区域、上流は県、目久尻・小出川は県の管理区域で、町では管理していないのです。河川の整備は毎年のように要望を出し、エコネットさんが目久尻川を綺麗にして下さったおかげで河川の管理用道路を歩けるよう整備され、民間や行政が利用できるようになったのですが、整備速度は遅いです。目久尻川は改修計画が終了しておりますが、氾濫する可能性はあります。ですから、是非、洪水ハザードマップで浸水地区の確認をお願いいたします。また、現在、小出川の下流部分から河川改修中で、寺尾橋まで完了し、北部へと改修しているのですが、まだ長い期間かかります。その間に何かあるか分かりませんので、河川の中に溜まっている土砂の浚渫をもらうよう県に要請しています。土砂が溜まり、河川の断面が非常に狭くなっており、危険を感じております。ですから、県土木事務所には要請し、現地を見てもらい、堤防のか</p>	

	<p>さ上げのようなことをやっていた だいています。</p> <p>もし、溢れた際は、皆さんには広 域避難場所に、そして河川に近く にお住いの方は垂直避難をとりあ えずしていただきたいと思いま す。あるいは、先ほどおっしゃっ ていたように企業さんの近隣にお 住いの方は会社に避難していただ いても構いません。企業さんの 避難場所提供、備蓄食材の協力も 少数ですが頂いております。</p> <p>毎月第1日曜日は家族防災会議 の日として、10時から無線を放 送しております。その日は家族間 で避難時の話をさせていただき、 危機意識を常に持っていただきた いと思っております。</p> <p>また、午前の懇談会では、防災 行政無線が聞きづらいとお話があ りました。情報は行政が早く出し、 聞いてもらう責任がありますので、 改善方法を担当で検討致します。そ して、皆さんにも情報が出た段階 で素早く、危険回避をしていただ きたいと思っております。</p>	
<p>【空き家の火災について】 公助</p> <p>最近、空き家が多く問題にあがっ ています。</p> <p>4、5年前に留守宅で火事があり まして、ほとんど中が燃えた状態 になってから発見され、消防署に 電話されました。今、旅行ブー ムで留守宅が増えています。</p> <p>ですから、火事があったときに、 これが原因で火事になりましたと いうことを教えてもらえたらあり がたいです。その火事も何が原 因で、誰もいない家からなぜ火事 が発生したのかが未だに我々に 知らされておらず、留守にでき ないという状態です。</p>	<p>(町民部長)</p> <p>広報の件は確認させていただきます。</p>	<p>【消防署】</p> <p>事案ごとの火災原因は公表して おりませんが、年1回発行してい る消防年報において、原因別火 災発生状況を町ホームページで 公表しております。</p> <p>【広報戦略課 広報プロモーション担当】</p> <p>広報さむかわは、現在、毎月24 ページで制作をしております。広 報を制作するにあたって、24ペ ージと紙面に限りがあるため、部 署変遷を行う前から記事の優先 順位を設けております。優先順 位にあたっては、町の情報発信 媒体で</p>

<p>消防署だけが掴んでいる情報をオープンにして欲しいです。</p> <p>もう1点、協働文化推進課が設立されてから、イベントや講座の開催を広報に掲載され、周知が可能になりました。しかし、広報を発行する部署が変わった途端に情報等を全て掲載することが出来なくなっていました。憲法15条第2項に、「公務員というのは全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではない」とあります。職員全体が、自分たちはどのように奉仕をしなければならないのかという周知徹底をお願いします。</p>		<p>あることから町の情報、町内団体情報、国県等の情報の順で設けております。その結果、町の情報の量によって町内の団体情報やイベント等の掲載依頼に対応できなかったこともあり、誠に申し訳ありませんでした。</p> <p>今後は、町の情報の内容精査や紙面レイアウト等の工夫によりできる限り掲載できるよう努めてまいります。</p>
---	--	---

<その他>

【北部懇談会の内容（北部文化福祉会館）】

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【電柱や道路について】 公助</p> <p>心配ごとが2点ほどあります。1つ目は、五島クリニックの角にある電柱が道路側に傾いており、大丈夫なのか伺いたいです。2つ目は、その五島クリニックから2軒先にある新しい新興住宅地、緑道から斜めに家が3軒ほど建っている道路に一番面している家が30～40センチほど側溝の上に家が乗り道路に出っ張ってしまっています。</p>	<p>(町民部長)</p> <p>至急、確認致します。</p>	<p>【道路課 管理担当】</p> <p>当該電柱は東京電力により民地内に設置されており、東京電力が管理しているため、設備としての問題がないか問い合わせを行いました。問い合わせ後、東京電力が点検を実施したところ、柱に問題なく傾きも基準(東電の社内基準)内のため立替等は行わないとのことでした。</p> <p>また、2点目につきましては、当該箇所は民地であり構造物(外壁)が道路に越境している状態ではありません。また、五島クリニック横にある側溝につきましても、民地内を通過することはできないため、今回新たな外壁が建築された箇所は側溝等の機能はありません。</p>
<p>【「高座」のころ。について】</p> <p>公助</p> <p>前々から「高座」のころ。とは</p>	<p>町のブランドスローガンという意味で、「高座」のころ。という言葉</p>	<p>【広報戦略課 広報プロモーション担当】</p> <p>「高座」のころ。とは、「高座」</p>

<p>と考えているのですが、これについて明確に教えてもらいたいです。本来あるべきものが失われたので、これからみんなでつくっていきましょうということなのではないでしょうか。パンフレットの最後のページに穏やかさ、優しさ、あたたかみのある「高座」のところですと書いてありますが、よく理解できません。</p>	<p>を出しています。情報を発信した町としては、高座とは歴史があり、品位のある高いプライドと色々書いてありましたが、寒川に住む方々にプライドを持っていただきたいという思いの一端があります。それをご理解いただくには時間が必要になってくると思います。</p>	<p>という文字からも感じる事ができる「品格」と、古く縄文から人が住み育まれてきた「人優しさ」を表現したスローガンです。現代社会において失われつつある「つながり」や「思いやり」を大切にしながら続けていくことが、「郷土愛」や「誇り」、さらに言えば「他市町村との差別化」にもつながると考えています。</p> <p>「つながり」や「思いやり」の形は人によって違う部分もありますし、当然行政だけで表現できるものではないので、今後町民の皆さんと一緒に考え、ご協力いただきながら進めていきたいと考えております。</p>
<p style="text-align: center;">(町民部長)</p> <p>ページ最後にもありますが、「品格と高い志」ということが言われ、町長が言われているプライドを持ち、町も町民の皆さんもやっていきましょうというものです。移住、定住の核となる考え方になります。</p>		
<p>これを一緒にやろうとまとまりができれば、発展すると思います。寒川は予算がないとありますが、寒川は日本の中で一番というものがあると思います。例えば、ごみはどこにも落ちていません、きれいに整理されていますとこれだけでいいのです。大したお金はかかりません。報道してもらえれば、様々な人が呼び込める可能性があります。</p> <p>ですから、ぜひこの「こころ」というものを具体的に、プライドとは何ですかと、誇れるものは何ですかと、皆さんが共通で持てるものをつくるということが我々の責務だと感じます。</p>		

<p>【ボランティア活動について】 共助・公助 私は野良猫を減らしたく、猫ボランティアを行っており、今、環境課の方の協力もいただき、手術の手続をお願いしています。昨年の12月にボランティア登録をさせていただきました。倉見でボランティアを行っており、12月から80匹ぐらい捕獲し病院に連れて行き、もとに戻しています。しかし、地域の方との連携がとれていないので、周知、連携をとらせていただけるか、模索状態です。町の方ともう少し協力し、掲示板にポスターを張る、回覧を回すなどしていただければと思います。</p> <p>月に1回、自治会長が集まる場（自治会長連絡協議会）があると伺ったので、そこで猫ボランティアの話もしたいとお願いしたのですが、それはできないと言われました。</p>	<p>広く周知をかけることは大事だと思います。また、野良猫より地域猫という言葉にすると町民の方も親しみを持ち、周知に繋がるのではないのでしょうか。</p>	<p>【環境課 環境保全担当】 ボランティアの方々からの要請に応じて、公益財団法人どうぶつ基金に不妊去勢手術チケットを行政枠で申し込み、お渡ししております。</p> <p>また、今後活動費として補助金の交付を検討しております。他にも、協力できる事につきましては協力し、ボランティア団体と共に野良猫を減らしていきたいと思っております。</p>
<p>地域猫にまで発展するには、やはり嫌いな方もいらっしゃるし、どこまで歩み寄っていけるかにもよります。</p>	<p>これは茅ヶ崎も同じ課題を持っています。獣医師会の方々との対策の検討を進めていますので、随時そのお話も協働文化のほうへお尋ねいただけますと、お話ができると思います。</p>	
<p>【目久尻川について】 公助 かしわ台の駅からウォーキングするふれあいウォークに参加しました。その際、かしわ台から来ると、寒川町に入った途端、雑だなという印象を持ちました。これは町の管轄ではないと理解していますが、町長のお力で、目久尻川にはカワセミやカモなど様々な鳥がいますし、健康のためにもいい目久尻川だと思っていますので、よろしく願います。</p>	<p>今おっしゃられたように、河川、特に目久尻川だけじゃないですけど、町内河川については、相模川は神川橋から下流は国の直轄で、目久尻川、小出川は県の管理になります。管理者は県なので町は何もしないのではなく一緒に行おうというお話もしています。しかし、河川の中に堆積している土砂は町が出来うる範疇を超えているので県に要望、要請をしています。河川の景観も大切ですが、一番大切なことは安全面です。</p>	

	安全面も含め、県と一緒に進めていきたいと思います。	
ありがとうございます。また、最近よく話を聞くのが、草を刈る回数が前に比べて随分少なくなったと伺いました。カモや様々な水鳥がいて、それを眺めながら写真を撮るのを楽しみにしている人も多いので、町の関係かは分かりませんが、よろしくをお願いします。		
【お土産について】 共助 寒川神社の参道のところの松の傾斜が危ないと思いました。また、お土産屋さんで販売している商品なのですが静岡や小田原で作られていました。私としては、寒川のブランド商品を作り販売してもらいたいと思います。		
【寒川の歌について】 共助 ・ 公助 寒川町の歌というのがあると思うのですが、もう少しPRできないでしょうか。1年に1回のコーラスのときに聞くだけです。		

【南部懇談会の内容（南部文化福祉会館）】

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
【寒川の歴史について】 公助 一之宮に在住で、寒川の観光ボランティアガイドをやっております。一之宮地区というのは、昔の大山街道沿いにあり、歴史・史跡が多数あります。しかし、それが活かされていません。PRの工夫が足りていない、例えば文化財学習センターは常に開放されていないという点です。また、西寒川支線跡が湘南遺産に選定されましたが、手入れがされていないので枕木などがボロボロです。町には歴史があるにも関わらず、それを上手に使えていないと思いま		【教育総務課 社会教育担当】 文化財学習センターにつきましては常駐の職員がおらず、予約制としておりますが、職員がいる場合は自由に見学ができる対応をしております。また、より多くの方に所蔵文化財を知っていただくため所蔵品の出張展示を総合図書館などで開催しております。また西寒川支線の文化財的価値につきましては今後も研究をしていきたいと考えております。これからも観光などの関係機関等と連携し、文化財保護及び活用

す。		にむけてPRをしていきます。
<p>【寒川をよりよい地域にするために】<u>公助</u></p> <p>手元に「高座」のころ。がありますが、最終的には人口減少を食い止めたい、移住や定住をしてもらい、つなげたいというのが根底にあると私は理解しています。</p> <p>ですから、地域を少しでもよくしたいということは良いのですが、町外の方々が寒川をどのように思っているのかという情報も大切だと思います。聞いた話によると、町の職員の半分以上が町外に住んでいると聞きましたが、いかがでしょうか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>約46パーセントほどが町民で、54パーセントほどが町外です。</p>	
<p>職員の方々は寒川に魅力があると思っ働いているのか。あるいは、問題が解決されたのなら寒川に住みたいと思うのか。まずお膝元の方々が実際にどのように思っているかが、町外の情報を得る一つの方法ではないでしょうか。</p> <p>なぜこれを言うかといいますと、町の職員に対する不信感をご婦人たちの中にはあるからです。例えば、イベントなどで職員は仕事をしていない割には、良いお弁当を食べているという状況を目にしたことがあるそうです。休日手当が出ているのならば、率先して働いて欲しいとも思っているようです。また、町に対して要望を提出すると予算がとばかりで受け付けてくれません。本末転倒ではないかと思っている活動されているご婦人たちは言っていました。</p>	<p>町民の方々からそのように見られているということは、私にも入ってきます。</p> <p>また、職員もこのことを知っておかなければいけません。</p>	
<p>ある方に聞くと、お弁当などは町から出ているものではないと言っていました。</p>	<p>もちろんです。</p>	
<p>しかし、そのように見られています。</p>	<p>そうです。参加し、行動したとしても、そのように見られてしまいます。ですから、役割を持ち、参加し</p>	

	<p>ているので、その役割に沿った動きをしなければいけません。</p>	
<p>要は、50パーセントほどの町外在住の職員が、寒川に住みたいと思うのですか、何が魅力なのですかと教えていただきたいです。魅力もない、住みたくもないと思いながら働き、町を良くしましょうと言うのはどうなのかと疑問に思います。</p>		
<p>【社会教育と生涯学習、町の組織体制について】<u>公助</u></p> <p>私は社会教育委員や生涯学習推進委員をやってきました。矛盾を感じる時があるのですが、社会教育委員と生涯学習というのは一体で活動をしなければならないのですが、社会教育は教育委員会に、生涯学習は協働文化推進課と分かれています。他市町村では社会教育委員はなく、生涯学習推進課として行われています。</p> <p>社会教育と生涯学習は一体化し、なおかつ、町や地域の中のいろいろな課題解決のそういう力でもって住民力を高めていって、町をよくするというのが主題であると多くの学者が言っています。</p> <p>それに対し寒川は、旧態依然たる社会教育委員会が存在します。教育委員会と町のどこが独立しているかは分かりませんが、町長主体の大きな枠の中で動くべきだと思います。ですから、社会教育と生涯学習は一本化すべきです。</p> <p>また、これから退職した、知識がある方々が町に戻って来られます。そのような人たちを地域活性に巻き込むために、住民主体や協働と行政はおっしゃっていますが、町が主導してNPOやボランティアを構築していくことによって、住民力が高まる</p>	<p>寒川町教育委員会というのは、寒川町と当然ながら一体のものだと思っております。ピラミッドの位置づけはできませんが、町長の指示を受け教育を進めていくという形になりました。組織の在り方は不変ではありません。今は変化が非常に激しい時代ですので、常に見直しの必要性を感じつつ、対応していきたいと思っております。</p> <p>これから地域にどんどん戻ってこられる方が増える段階ですから、そういった方々を、むしろ力として、地域力として我々行政側も力をお借りしたいです。ですから、参加しやすい町の組織体制も作らなければなりません。</p>	

<p>と思います。</p>		
<p>【小学生体験学習キャンプについて】 公助</p> <p>私は今年から青少年指導員をさせていただいております。夏に行う小学生体験学習キャンプについてなのですが、ここ数年キャンプを行っていません。そして今年はデイキャンプを行おうと思っていたのですが、人数が集まらず流れてしまいました。その背景には予算が足りないということがありました。キャンプは子供を育成するための要素がある中、町として子どもの教育に関する政策も出しているにも関わらず、実際には予算が削られる状況です。町としての方向性をしっかりとっていただきたいと思います。</p> <p>また、近隣の市町村に人工芝のグラウンドが備わっている中、寒川のスポーツ施設は人工芝を使用していません。お金はかかるとは思いますが、魅力あるスポーツ施設づくりとして、寒川の魅力を上げるためにも検討をしていただきたいと思います。</p> <p>最後に、世界情勢を見ると日本も安全とは言えなくなってきました。国が守ってくれるという考えではなく、町としてもしっかり備えをしていただきたいなと思います。</p> <p>以上3点ですが、1点目のキャンプについては町長にご回答いたします。</p>	<p>キャンプは他の自治体でも中止になりました。それは自治体が参加費をとって旅行を計画することは、旅行業法的にはどの指導があったからです。結果的、行政の場合は認めるとの判断が後日に出ましたが、当時はそれが理由で中止となり、予算を組むも執行できなかったということがありました。ですから、私としては今後キャンプを行わないとは判断しておりません。</p>	<p>【保育・青少年課 青少年育成担当】</p> <p>小学生体験学習のキャンプは、平成28年度は台風、平成29年度は旅行業法に抵触する可能性があり、実施方法の見直しの是正を行いました。法に抵触しきれないと言い切れずやむなく中止といたしました。平成30年度は、デイキャンプを企画し参加者を募集しましたが、応募者が催行人数に達しなかったため中止といたしました。今後も小学生体験学習によるキャンプは継続していきたいと考えております。</p>
<p>【道の駅について】 共助・公助</p> <p>同じソフィアの自治会の、老人会の椿の花サロンの副会長をやっている者です。寒川を通過する新しい道路あたりに、道の駅を作っていただきたいです。寒川神社に来る方は多いのですが、お参りしたら帰ってし</p>	<p>(町民部長)</p> <p>寒川神社にたくさんの参拝客がいらっしゃるので、素通りでなく、寒川の物産を1つでも買っていただければ、また違うと思います。</p>	

<p>もう状況です。それはお店が周りにないので、人は来るが神社に行くだけ他は寄らず帰るといった悪循環があると聞いています。わいわい市はありますが、神社から離れているため悪循環のままです。神社の近くに設置してこそ、参拝客は来てくれます。折角、寒川には花や農作物などの特産品があるのですから、検討していただきたいです。</p>		
<p>【お土産について】 共助</p> <p>私はボランティアガイドをしており、その時に感じたことは、お土産などがメイドイン寒川ではないということです。神社で見ていると、参拝客がお菓子を手にとっても裏に他の場所が生産場所と書いてあるのを見ると戻ってしまっています。参拝客の多さを考えてももったいないと思います。神社から離れたわいわい市でなく、神社の境内にお菓子や花などを置いて参拝客に販売していくことの積み重ねで先ほどおっしゃっていた道の駅のようなになればいいと思います。</p> <p>また、観光協会では冬のひまわりの活動をしていまして、去年は千人ほどのお客様が来られました。ひまわりを見に来てもらう以外にも何かしようと言うことで、軽トラで野菜や花、棒コロなどを販売しようとして予定しています。その際、他もですが、何かしようとするとう町の決まりでそれはしてはいけないと言われてしまいます。町でも、町のルールがあるとは思われますが、町のためにもう少し臨機応変に対応しても良いのではないかと思います。</p>	<p>(町民部長)</p> <p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>午前中の北部の会場でも、お土産の件は出ました。寒川の特産をもう少し何とかできないのかという話がありました。</p>	

中部懇談会の内容（総合図書館会議室）

参加者	町長	懇談後の経過・結果等確認事項
<p>【図書館の駐車場について】 公助</p> <p>図書館の隣の大きな砂利の駐車場が1カ所しか出入り口がないのはどうしてなのでしょう。もう1カ所、出入り口があったらと思い、利用させていただいています。</p>	<p>(町民部長)</p> <p>ほかの接している道が狭いので、出入り口に向かないという安全面からだと伺ってはいますが、担当に確認します。</p>	<p>【施設再編課 管財担当】</p> <p>駐車場東側の出入り口に面している道路が狭く、安全な利用が難しいため、現在の出入り口でのご利用をお願いいたします。</p>
<p>将来、建物が建つなどのような予定している土地があの中にあるのでしょうか。</p>	<p>町としては、健康福祉総合センターをつくる目的で土地を取得したのですが、今現在、寒川の数多くの公共施設が非常に老朽化しております。庁舎自体も老朽化し、年数がたっています。そういったことで、今、施設の再編計画を策定しております。実はその中で、今、空地になっていますが、ここも有効活用を図りたいということで、今後、この計画を確定しますので、その中で、この土地利用の図り方を皆さんにお示したいと思います。</p>	
<p>先ほど庁舎の前の駐車場の件で、今、町長から、いろんな施設を、複合施設を考えているのですが、すぐに建つとは思えない状態ですので、その間、駐車場で使われます。中島部長がおっしゃったのは、道路の関係で入り口があるとのことですが、交差点に近いので危ないです。ですから、町民センターとの前に、人間が通る場所を車の出入り口にするほうが良いと思います。建物を建てるのは先の話で、その間は駐車場で使うと思われるので、一応検討されたほうが良いと思います。</p>	<p>おっしゃられたように、出入り口、両方とも仮に東側をあけても、あそこは通過車両がよく通りますから、センター側の、今は歩行者専用になっていますが、検討しましょう。</p>	
<p>【シンコースポーツのモニュメントについて】 公助</p> <p>シンコースポーツになってから、多目的室の近くにあったモニュメント、建物の説明のものがなくなっ</p>	<p>(町民部長)</p> <p>おそらく古くなり、どこかに片づけたと思いますので、確認します。</p>	<p>【都市計画課 みどり・国県担当】</p> <p>お話にありますモニュメントは体育館南側の掲示板近くの物だと思われます。</p>

<p>ているのですが、どこかにいつし まったのでしょうか。他市から来た 人に設立年数など聞かれるので。</p>		<p>本来体育館の各階の案内図が 書かれていましたが、現在文字 が薄くなってしまい内容を確認 することができなくなっています。 設立年数等の建物内容につい て訪れた方がわかるよう案内の 方法を検討してまいります。</p>
<p>【八角広場の噴水について】 公助 八角広場にある噴水を活用でき る何かを作ることはできればと思 います。</p>		
<p>【町民センター前の植物につい て】 公助 町民のセンターの入り口のところ に、スギ科の植物が28本植わっ ていたのです。今年の夏に通りがか かったときに、植木屋さんがその木を 大分刈り込んでしまっていて、細い 枝にパラパラッとしか葉っぱがな いように切っていました。最近通り かかったのを見たら、28本のうち 16本枯れていました。美観が損な われていると思います。剪定された のが誰なのか教えていただきたい です。</p>	<p>(事務局) 確かに枯れているものがありまし て、所管する課にはお伝えをしてい ます。おそらく職員が道路にかかっ てしまうといった理由で剪定をした と思われま。</p>	
<p>【目久尻川について】 共助・公助 さむかわエコネットの報告書で 今年、何匹かホタルを目久尻川で確 認したと知りました。多くのホタル が飛ぶようになると、目久尻川自体 が観光資源となるのではないでし ょうか。ホタルの数を増やす方法を 考えるなどするべきだと思います。 また、小出川は彼岸花が有名ですの で、目久尻川の土手に花壇を作り、 それを地域ごとに管理し、年に1 回、品評会を行うのはいかがでし ょうか。花が咲いている中、ホタルが 飛び交う様が寒川の地は似合うと 思います。</p>	<p>エコネットさんは毎月のように目 久尻川の清掃を行ってくださって います。水質も随分変わり、カモや魚 が泳いでいるのが見えます。行政は 雨が降ると、川が溢れてしまっ たらと考えてばかりなので、自然、 生き物がそこに生息している川とい う自然環境も大事にしなければい けないと思います。</p>	

<p>そのために、目久尻川を観光資源化する必要があります。行政に丸投げするのではなく、町民も一緒に、協働という形で行う。検討をより具体的にすべきだと思います。</p>		
<p>目久尻川の観光も大事だと思いますが、近隣の住人からすると、溢れない河川敷づくりを行って欲しいと思います。目久尻川では毎年、避難勧告が大村地区に出ます。避難勧告が出る確率が高い地域であれば、観光とともに河川敷整備を併せて進めていくべきだと思います。</p>		
<p>護岸の種類によっても生物の種類が変わると思いました。あるところはカワセミなど様々な野鳥がいるのに対し、コンクリート護岸の部分は鳥が飛んでいないように思われます。コンクリートで護岸をつくるのではなく、多自然型でやるべきではないかと思いました。生物が居続けられるような護岸づくりについて考えていただけたらと思います。</p>	<p>沿線や自治体、県の管理、土木事務所によっても整備の仕方は変わります。</p>	
<p>ある時期、護岸を全部コンクリートで固める護岸が多数ありました。ところが、生物が住めなくなってしまうので、今、木を植えていきながら、土を固めています。</p>		<p>(町民部長) わかりました。ありがとうございます。 この会議の議事録は公表しますが、全職員にも流しますので、担当に伝わっていくと思われま。</p>
<p>【小学校のもちつきについて】 公助 小学校のもちつきが寒川でとうとう小谷小だけになってしまったという話を聞きましたが、それでよいのでしょうか。小谷小の子は田植えから稲刈り、スキまで経験しているが、ほかの子はその経験をしてない。中学校のときに、経験している子としてない子で差がつき、その差が差別にならないかと少し危惧しています。</p>		

<p>【若者の定住方法について】 共助・公助 一之宮に在住で、小学校、中学校のPTAをしております。漠然としてしまうのですが、これから将来を担っていく子どもたちを大事にすることだと思います。町は高校までしかなく、その後、若者が町から出ていってしまうのを抑えるべく、専門学校や大学を建設するほうが良いと思います。優先順位を考えると、町に人が根付き、定着していく方法をとるべきだと思います。</p>	<p>これからの将来を担ってもらう子どもたちのために、家庭や学校に限らず、行政や地域も関わるほうが良いです。子どもたちにはたくさんの体験を通し、知ることを増やして欲しいと思います。町の仕組みも知ってもらいたいと思いますし、1つのことを学ぶことで、様々な部分が学びにつながっていきます。ですから、そのためには地域の皆さんの協力もいただきたい、カヌー体験も本当にそうだと思います。</p>	
<p>【花火について】 共助・公助 花火大会の件なのですが、河川敷をバイクで入ってこられて、小鳥たちの巣が踏まれてしまうというを目にしました。できれば以前のように、河川敷で花火が見れたらと思いますので、教えていただきたいです。</p>	<p>基本的にはみんなの花火は、青年会議所や農協、商工会の若手の皆さんが実行委員会形式で行われており、町は花火のPRということで関わらせていただいています。</p> <p>相模川の河川敷は、町の町政50周年のときから数年間行いましたが、寒川の人が見る花火なのか、平塚の人が見る花火なのか分からない、また、河川敷に行くまでの足の確保も非常に難しいということで、岡田の東中の場所になりました。そのため、河川敷で行うのは難しいと思われま。</p> <p>実行委員会の中では、中央公園で昼はイベントを行い、夜に花火を上げるという案も出ているようです。</p> <p>実行の具体的なお話は出ていませんが、次回もやりましょうというお声は伺っています。</p>	